

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年11月14日(14.11.2024)



(10) 国際公開番号

WO 2024/232176 A1

(51) 国際特許分類:
A63H 3/36 (2006.01) A63H 3/46 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2024/011816

(22) 国際出願日: 2024年3月26日(26.03.2024)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2023-077352 2023年5月9日(09.05.2023) JP

(71) 出願人: 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 Tokyo (JP).

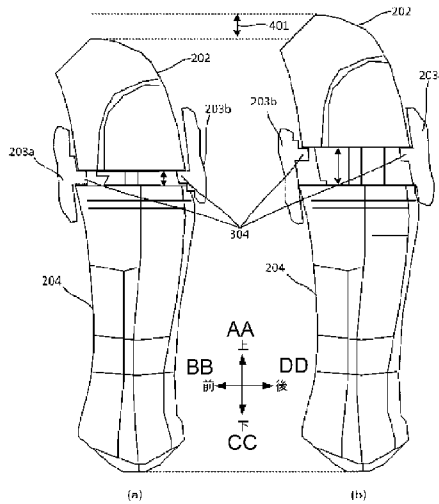
(72) 発明者: 山上 篤 史 (YAMAGAMI Atsushi); 〒1080014 東京都港区芝五丁目29-11 G

— B A S E 田町 株式会社 B A N D A I S P I R I T S 内 Tokyo (JP). 上原 瑠哉 (UEHARA Ryuya); 〒1080014 東京都港区芝五丁目29-11 G — B A S E 田町 株式会社 B A N D A I S P I R I T S 内 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,

(54) Title: MODEL TOY AND STRUCTURE

(54) 発明の名称: 模型玩具、及び構造体



AA Up
BB Front
CC Down
DD Rear

(57) Abstract: [Problem] To provide a novel mechanism for changing the size of a physique using a small number of parts in a model toy, for example. [Solution] A model toy (100) comprises: a first part (201) having a coupling portion 322; a second part (204) having a reception portion 313 into which the coupling portion 322 is inserted; and a third part (203) that covers a connection portion between the first part and the second part, and restricts the length of the coupling portion to be inserted into the reception portion. The third part changes the restricted length by changing the orientation in which the third part is assembled with respect to the second part.

(57) 要約: 【課題】本発明は、例えば、模型玩具において、少ないパーツで体格のサイズを変更する新規な仕組みを提供する。【解決手段】本模型玩具(100)は、連結部322を有する第1パーツ(201)と、連結部322が挿入される受け入れ部313を有する第2パーツ(204)と、第1パーツと第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツ(203)とを備える。第3パーツは第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する長さを変更する。

[続葉有]

ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG,
US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第21条(3))

明 細 書

発明の名称： 模型玩具、及び構造体

技術分野

[0001] 本発明は、模型玩具、及び構造体に関する。

背景技術

[0002] フィギュアなどの模型玩具においては、模型対象に応じて様々な服飾や髪型などに対応するものである。また、模型対象ごとに体格も異なり、四肢や胴体の長さも異なるものである。一方で、製造コスト等を考慮すると、同一シリーズのキャラクターなどにおいては可能な限り同じパーツを流用し、服飾や髪型などのパーツを交換することにより種々のキャラクターに対応可能であることが望ましい。

[0003] 特許文献1には、人形玩具の骨格を形成する関節において、例えば腰椎パーツに連結される連結部材が当該腰椎パーツの異なる位置に連結されることにより、骨格を縮めたり、延ばしたりする技術が提案されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2006-122248号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 上記従来技術では、パーツ間の連結位置を異ならせることにより骨格のサイズを変更している。しかし、骨格を延ばした状態で連結する場合には、骨格を覆う胴体等のパーツ間に隙間が生じ不自然な印象を与えてしまう。一方で、隙間が生じないように胴体等のパーツを大きめに形成することも考えられるが、その場合において骨格を縮めた状態で連結すると、胴体等を形成するパーツ間で重なる部分が生じ不自然な印象を与えてしまう。また、四肢などの空間的に狭い部位では骨格と肉体とが1つのパーツで表現されるものであり、そのような場合には所定のパーツが他のパーツと重なるように形成する

ことは困難なものである。さらに、上記従来技術では、連結部材を連結するネジ穴の位置を異ならせることにより骨格のサイズを変更可能としており、部品の点数が多く、他の体格への変更が容易でないという問題がある。

[0006] 本発明は、例えば、模型玩具において、少ないパーツでサイズを変更する新規な仕組みを提供する。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明は、例えば、模型玩具であって、連結部を有する第1パーツと、前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第2パーツと、前記第1パーツと前記第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツとを備え、前記第3パーツは前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする。

[0008] また、本発明は、例えば、構造体であって、連結部を有する第1パーツと、前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第2パーツと、前記第1パーツと前記第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツとを備え、前記第3パーツは前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする。

発明の効果

[0009] 本発明によれば、模型玩具において、少ないパーツでサイズを変更する新規な仕組みを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0010] [図1A]一実施形態に係る人形型玩具の外観正面の一例を示す図。

[図1B]一実施形態に係る人形型玩具の外観側面の一例を示す図。

[図2]一実施形態に係る人形型玩具の（a）胴体部の分解斜視図、及び（b）下腿部の分解斜視図。

[図3]一実施形態に係る人形型玩具の（a）、（b）服飾パーツの斜視図、（c）、（d）脛下パーツの斜視図。

[図4]一実施形態に係る人形型玩具の下腿部の側断面図。

[図5]一実施形態に係る人形型玩具の下腿部を構成する各パーツの製造時における金型からの離型方向を示す図。

発明を実施するための形態

[0011] 以下、添付図面を参照して実施形態を詳しく説明する。尚、以下の実施形態は特許請求の範囲に係る発明を限定するものではなく、また実施形態で説明されている特徴の組み合わせの全てが発明に必須のものとは限らない。実施形態で説明されている複数の特徴うち二つ以上の特徴が任意に組み合わせられてもよい。また、同一若しくは同様の構成には同一の参照番号を付し、重複した説明は省略する。

[0012] <人形型玩具の外観> まず、図1A及び図1Bを参照して、本実施形態に係る人形型玩具100の外観構成の一例について説明する。図1Aは人形型玩具100の外観正面を示す。図1Bは人形型玩具100の外観側面を示す。なお、上下、左右、前後の矢印については図における人形型玩具の向きを示し、他の図面についても同様である。

[0013] 人形型玩具（人形体）100は、頭部101、胸部102、腕部103a、103b、腹部104、腰部105、及び脚部107a、107bを備える。人形型玩具100は、可動フィギアなどの可動式の人形型玩具であり、各パーツは他の部材との関係で生じる制限領域の範囲内で可動させることができる。頭部101は胸部102に球形状の連結部材によって連結される（以下では、ボールジョイントとも称する。）。胸部102には、さらに右腕部103a及び左腕部103bを含む腕部103が球形状の連結部材で連結され、下部において腹部104が連結される。腹部104には腰部105が連結される。腰部105には右脚部107a及び左脚部107bを含む脚部107が連結され、スカート等の服飾部で覆われる。脚部107の下腿部についての詳細については後述する。

[0014] なお、以下では、頭部101、胸部102、及び腕部103を含む上半身を上部と称する。また、腰部105、脚部107a、107bを含む下半身を

を下体部と称する。上体部及び下体部は腹部 104 を介して連結される。また、胸部 102、腹部 104、及び腰部 105 をまとめて胴体部とも称する。以下では、本実施形態に係る構造体として、主に四肢の一部、例えば脚部 107 の下腿部に適用される場合について説明する。しかしながら、本発明を限定する意図はなく、以下で説明する構造体は、脚部に限らず、腕部や、胴体部、首部などに適用することも可能である。

[0015] <脚部の構成> 次に、図 2 を参照して、本実施形態に係る人形型玩具 100 の脚部 107 を中心とした付近の詳細構成について説明する。図 2 (a) は胸部 102 及び腹部 104 と、腰部 105 及び脚部 107 の上腿部と、脚部 107 の下腿部とを分解した斜視図である。図 2 (b) は脚部 107 b の下腿部を分解した分解図である。

[0016] 図 2 (a) に示すように、腰部 105 は腹部 104 に対して連結されるものであり、球形状の連結部（ボールジョイント）で制限の範囲内で全方向に回転可能に連結される。また、脚部 107 a、107 b では、それぞれ上腿部と下腿部とがパーツ 201 によって回転可能に連結される。

[0017] 図 2 (b) は図 2 (a) の点線で囲まれた脚部 107 b の下腿部の分解構成を示す。脚部 107 a の構成は脚部 107 b と同様の構成であるため説明を省略する。

[0018] パーツ 201 は脚部 107 b の上腿部に接続される膝関節を構成するパーツである。パーツ 201 のリング形状の連結部 321 に上腿部を構成するパーツが連結される。これにより、上腿部に対して下腿部が回転可能に連結され、脚部 107 b の屈伸動作を実現することができる。また、パーツ 201 の棒形状の連結部 322 は、パーツ 202、203 に形成された空洞部を通過して、パーツ 204 の円筒形状の受け入れ部 313 に挿入される。これにより、パーツ 202 及びパーツ 203 をパーツ 204 に組み付けることができる。したがって、パーツ 202 及びパーツ 203 は、パーツ 201 とパーツ 204 と間に挿入されるスペーサとして機能するパーツである。

[0019] パーツ 202 は、人形型玩具 100 の脛部の上部を形成するパーツであり、

連結部 322 が挿入されるように内部に空洞部が形成されている。また連結部 322 がパーツ 202 を介して通過するように、当該空洞部は、一方の端部から他方の端部まで貫通して形成されている。

[0020] パーツ 203 は、人形型玩具の脚部に装着される服飾部であり、連結部 322 が挿入されたパーツ 202 が挿入される空洞部が形成されている。また、パーツ 203 は、パーツ 201 とパーツ 204 とが接続される接続部を被覆するように形成される。さらに、パーツ 203 はパーツ 204 に対して組み付ける向きを変更することにより、パーツ 201 ～204 で形成される人形型玩具 100 の下腿部の長さを変更する調整部材となる。

[0021] パーツ 202 及びパーツ 204 は、人形型玩具 100 の脛部を形成する。したがって、連結部 322 が受け入れ部 313 に形成された空洞部のどの部分まで挿入されるかに応じて、2つのパーツ 202、204 の間に生じる隙間の幅が変化することとなる。この隙間の幅は、下腿部の長さを規定し、リング形状で形成されたパーツ 203 のリング幅の範囲内となるように調整されることが望ましい。

[0022] <体格を調整するパーツの構成> 次に、図 3 を参照して、本実施形態に係る人形型玩具 100 の体格を調整するパーツの構成について説明する。図 3 (a) 及び図 3 (b) は本実施形態に係る人形型玩具 100 のパーツ 203 の構成を示す。図 3 (c) 及び図 3 (d) は本実施形態に係る人形型玩具 100 のパーツ 204 の構成を示す。

[0023] 図 3 (a) 及び図 3 (b) は互いにパーツ 203 の上下を逆さにした図を示す。また、図 3 (c) はパーツ 204 の正面を示し、図 3 (d) はパーツ 204 の背面を示す。パーツ 203 は複数の位置決め部 301 ～303 と、規制部 304 を有する。規制部 304 は、パーツ 203 の内径よりもさらに短い内径で、パーツ 203 の内壁に沿って形成される。当該規制部 304 は、人形型玩具 100 の脛上を形成するパーツ 202 の下端部に当接し、当該パーツ 202 に形成された空洞部にパーツ 204 の受け入れ部 313 が挿入される深さを規制する。これにより、さらにパーツ 201 の連結部 322 がパ

ーツ２０４の受け入れ部３１３に挿入される長さを規制することができる。

[0024] 図３（ａ）に示すように、一方の向きでパーツ２０３がパーツ２０４に対して組み付けられる場合は、パーツ２０３の位置決め部３０３が図３（ｄ）に示すパーツ２０４の嵌め込み部３１４に嵌合され、パーツ２０３の位置を固定する。一方、図３（ｂ）に示すように上下左右を反転させた状態となる他方の向きでパーツ２０３がパーツ２０４に対して組み付けられる場合は、パーツ２０３の位置決め部３０１、３０２が図３（ｃ）に示すパーツ２０４の嵌め込み部３１１、３１２に嵌合される。

[0025] 位置決め部３０１、３０２が嵌め込み部３１１、３１２に嵌合される場合は、位置決め部３０３が嵌め込み部３１４に嵌合される場合と比較して、パーツ２０３はパーツ２０４に対して浅く嵌め込まれることになる。言い換えれば、位置決め部３０３が嵌め込み部３１４に嵌合される場合はより深く組み付けられ、これに応じてパーツ２０２、２０１もパーツ２０４に対して深く組み付けられることとなる。したがって、浅く嵌め込まれる場合と比較して、パーツ２０１～２０４で形成される下腿部の長さを短くすることができる。なお、本実施形態で示す位置決め部や嵌め込み部については単なる一例であり、その数や形成される位置については、模型玩具に応じて変更されるものであってよい。

[0026] ＜下腿部の側断面＞ 図４は本実施形態に係る下腿部の側断面を示す図である。図４（ａ）はパーツ２０３を図３（ａ）に示す一方の向きでパーツ２０４に対して組み付けた様子を示す。図４（ｂ）はパーツ２０３を図３（ｂ）に示す他方の向きでパーツ２０４に対して組み付けた様子を示す。２０３ａ、２０３ｂはそれぞれパーツ２０３の断面を示す。つまり、図４（ａ）と図４（ｂ）とにおいて、パーツ２０３がパーツ２０４に対して組み付けられる向きは、上下左右が反転した状態となる。なお、本発明を限定する意図はなく、模型玩具の仕様に依じて、少なくとも上下のみを反転させる構成としてもよい。

[0027] 図4（a）では、パーツ202とパーツ204とがパーツ203の規制部304を挟み込むように組み付けられていることがわかる。即ち、パーツ201及びパーツ202がパーツ204に対して深く挿入されている状態となる。この場合、パーツ202と、パーツ204との間に生じる隙間は規制部304の幅程度となる。

[0028] 一方、図4（b）では、図4（a）と比較して、パーツ203がパーツ204に対して上下左右を反転して組み付けられ、規制部304がより高い位置に位置づけられていることがわかる。したがって、パーツ202は、その下端部が当該規制部304に対して当接する位置までしかパーツ204に対して挿入することができない。よって、図4（b）に示すように、パーツ202とパーツ204との間の隙間が大きく確保されることとなる。図4（b）に示す隙間は、401に示すように、下腿部の長さを変更することになる。

[0029] このように、本実施形態に係る下腿部は、パーツ203を組み付ける向きを逆方向にすることで、その長さを変更することができる。なお、パーツ202とパーツ204とは脛部を形成するパーツであるため、それらの間に生じた隙間が露出すると不自然な印象を与えてしまう。しかし、本実施形態によれば、これらの隙間は服飾部であるパーツ203によって被覆されているため、不自然な印象を与えないようにすることができる。このように、本実施形態によれば、骨格と肉体とが一つのパーツで表現される四肢などにおいても容易に体格の長さを調整することができる。

[0030] ＜金型からの離型方向＞ 次に、図5を参照して、本実施形態に係る下腿部を構成する各パーツの製造時における金型から成形品（各パーツ）を取り出す離型方向について説明する。図5は下腿部の側面図を示す。

[0031] 501はパーツ202の製造時における金型からの離型方向を示す。502はパーツ203の製造時における金型からの離型方向を示す。このように、本実施形態に係る人形型玩具100では、当接するパーツ202、203の金型からの離型方向を異ならせるように設計している。

[0032] 一方で、パーツ２０２にパーツ２０３を接続して固定するパーツ構成の場合、パーツ２０２とパーツ２０３とは同じ方向で金型から離型させることが一般的に行われている。これにより、パーツ２０２とパーツ２０３を組み付けた際に十分な強度で固定することができる。しかし、本実施形態では、パーツ２０３を上下反転させて使用する場合も想定しており、そのように設計されたパーツ同士では、上下反転させる組み付けた場合にパーツ２０３とパーツ２０２との間に不自然な隙間が生じてしまう。

[0033] したがって、本実施形態では、パーツ２０２とパーツ２０３との金型からの離型方向を異ならせることによって、上下を反転させて組み付けた場合であっても、パーツ間で生じる隙間をできる限り小さく設計している。一方で、パーツ同士を組み付けた際に固定する強度が十分得られないため、パーツ２０２、２０３はパーツ２０１、２０４の間のスペーサのようなパーツとして機能させ、パーツ２０１がパーツ２０４へ連結されることによって固定されるようにしている。

[0034] 以上説明したように、本実施形態に係る模型玩具（１００）は、連結部３２２を有する第１パーツ（２０１）と、連結部３２２が挿入される受け入れ部３１３を有する第２パーツ（２０４）と、第１パーツと第２パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第３パーツ（２０３）とを備える。第３パーツは第２パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する長さを変更する。これにより、本実施形態によれば、例えば、模型玩具において、少ないパーツで体格のサイズを変更する新規な仕組みを提供することができる。

[0035] ＜変形例＞ 本発明は上記実施形態に制限されるものではなく、発明の要旨の範囲内で、種々の変形・変更が可能である。上記実施形態では、本発明の構成を下腿部分に適用する例について説明したが、腕部や脚部の四肢の一部や、首部、尾部、腹部、腰部などにも適用してもよい。また、上記実施形態では、模型玩具として人形型玩具の例を説明したが、人形型玩具（人形体）の形状は、特に限定されるものではなく、人、動物、ロボット、昆虫、恐竜

、仮想生命体等、様々な形状を含むものである。また、可動部を含む形態であれば、模型玩具の形状は特に限定されるものではない。

[0036] <実施形態のまとめ> 上記実施形態は以下の模型玩具、及び構造体を少なくとも開示する。(1) 模型玩具であって、 連結部を有する第1パーツと、 前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第2パーツと、 前記第1パーツと前記第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツとを備え、 前記第3パーツは前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする模型玩具。(2) 前記第3パーツは、リング形状で形成され、円筒形状の前記連結部に対して前記リング形状のリングを挿入する方向を変更することにより、前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することを特徴とする(1)に記載の模型玩具。(3) 前記第3パーツはリングの内壁に第1位置決め部及び第2位置決め部を有し、 前記第2パーツは、前記第1位置決め部に嵌め込まれる第1嵌め込み部と、前記第2位置決め部に嵌め込まれる第2嵌め込み部とを有し、前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを第1方向とする場合は、前記第1位置決め部と前記第1嵌め込み部とが嵌合し、 前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを前記第1方向とは逆方向となる第2方向とする場合は、前記第2位置決め部と前記第2嵌め込み部とが嵌合することを特徴とする(2)に記載の模型玩具。(4) 前記第3パーツによって規制する前記長さの範囲は前記リング形状のリング幅の範囲内であることを特徴とする(2)又は(3)に記載の模型玩具。(5) 前記第1パーツと前記第2パーツとの間に挟み込まれる第4パーツをさらに備え、前記連結部は前記第3パーツ及び前記第4パーツを介して前記受け入れ部へ挿入されることを特徴とする(1)乃至(4)の何れか1つに記載の模型玩具。(6) 前記第3パーツはリングの内壁に沿って形成される規制部を有し、 前記規制部は、前記第2パーツと前記第4パーツとの間に挟まれて、前記第4パーツの位置を規定し、前記第1パーツの前記連結部が前記第2パー

ツの前記受け入れ部へ挿入される長さを規制することを特徴とする（５）に記載の模型玩具。（７）前記第１パーツ、前記第２パーツ、及び前記第４パーツは前記模型玩具の四肢の一部を形成し、前記第３パーツは、前記第１パーツ及び前記第２パーツの接続部を被覆する服飾部であることを特徴とする（５）又は（６）に記載の模型玩具。（８）前記第３パーツによって規制する前記長さを変更することによって、前記第１パーツ、前記第２パーツ、及び前記第４パーツによって形成される前記模型玩具の四肢の一部の長さを変更されることを特徴とする（５）乃至（７）の何れか１つに記載の模型玩具。（９）前記第３パーツと、前記第４パーツとは、それぞれ金型からの離型方向が異なるように形成されることを特徴とする（５）乃至（８）の何れか１つに記載の模型玩具。（１０）前記第３パーツと前記第４パーツは、前記第１パーツが前記第２パーツに連結されることにより固定されることを特徴とする（５）に記載の模型玩具（１１）構造体であって、連結部を有する第１パーツと、前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第２パーツと、前記第１パーツと前記第２パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第３パーツとを備え、前記第３パーツは前記第２パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする構造体。

符号の説明

[0037] １００：人形型玩具、１０１：頭部、１０２：胸部、１０３ａ、１０３ｂ：腕部、１０４：腹部、１０５：腰部、１０７ａ、１０７ｂ：脚部

請求の範囲

- [請求項1] 模型玩具であって、 連結部を有する第1パーツと、 前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第2パーツと、 前記第1パーツと前記第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツとを備え、 前記第3パーツは前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする模型玩具。
- [請求項2] 前記第3パーツは、リング形状で形成され、円筒形状の前記連結部に対して前記リング形状のリングを挿入する方向を変更することにより、前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することを特徴とする請求項1に記載の模型玩具。
- [請求項3] 前記第3パーツはリングの内壁に第1位置決め部及び第2位置決め部を有し、 前記第2パーツは、前記第1位置決め部に嵌め込まれる第1嵌め込み部と、前記第2位置決め部に嵌め込まれる第2嵌め込み部とを有し、 前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを第1方向とする場合は、前記第1位置決め部と前記第1嵌め込み部とが嵌合し、 前記第3パーツを前記第2パーツに対して組み付ける向きを前記第1方向とは逆方向となる第2方向とする場合は、前記第2位置決め部と前記第2嵌め込み部とが嵌合することを特徴とする請求項2に記載の模型玩具。
- [請求項4] 前記第3パーツによって規制する前記長さの範囲は前記リング形状のリング幅の範囲内であることを特徴とする請求項2又は3に記載の模型玩具。
- [請求項5] 前記第1パーツと前記第2パーツとの間に挟み込まれる第4パーツをさらに備え、 前記連結部は前記第3パーツ及び前記第4パーツを介して前記受け入れ部へ挿入されることを特徴とする請求項1に記載の模型玩具。
- [請求項6] 前記第3パーツはリングの内壁に沿って形成される規制部を有し、

前記規制部は、前記第2パーツと前記第4パーツとの間に挟まれて、前記第4パーツの位置を規定し、前記第1パーツの前記連結部が前記第2パーツの前記受け入れ部へ挿入される長さを規制することを特徴とする請求項5に記載の模型玩具。

[請求項7] 前記第1パーツ、前記第2パーツ、及び前記第4パーツは前記模型玩具の四肢の一部を形成し、前記第3パーツは、前記第1パーツ及び前記第2パーツの接続部を被覆する服飾部であることを特徴とする請求項6に記載の模型玩具。

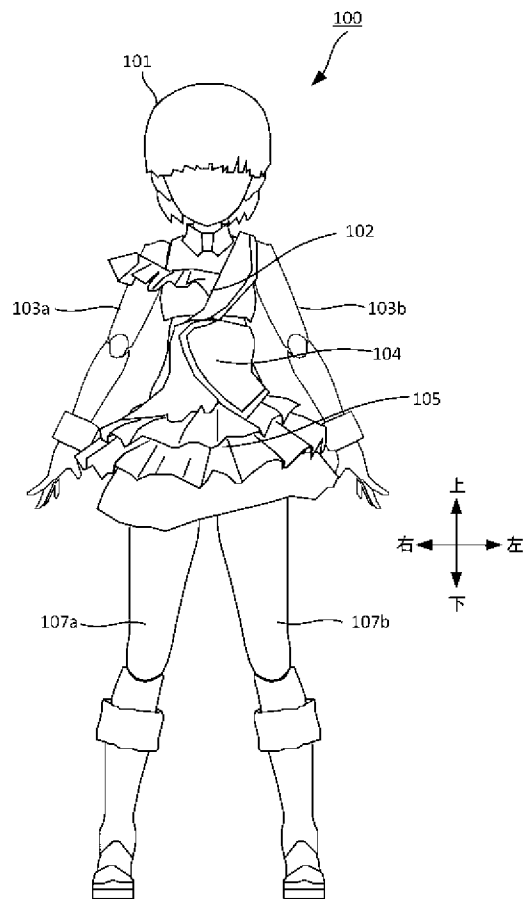
[請求項8] 前記第3パーツによって規制する前記長さを変更することによって、前記第1パーツ、前記第2パーツ、及び前記第4パーツによって形成される前記模型玩具の四肢の一部の長さが変更されることを特徴とする請求項7に記載の模型玩具。

[請求項9] 前記第3パーツと、前記第4パーツとは、それぞれ金型からの離型方向が異なるように形成されることを特徴とする請求項5に記載の模型玩具。

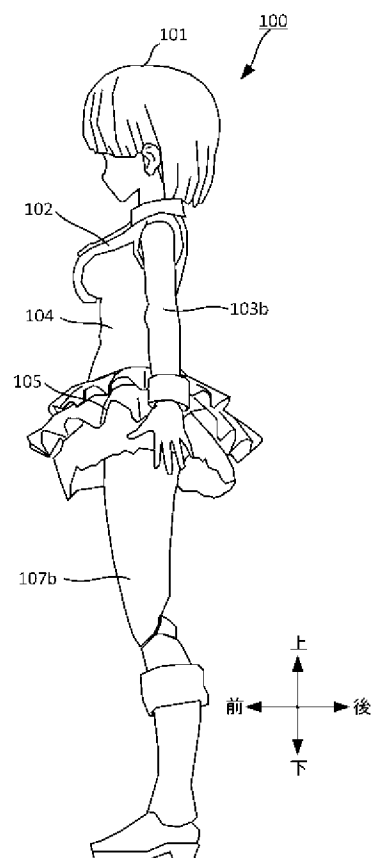
[請求項10] 前記第3パーツと前記第4パーツは、前記第1パーツが前記第2パーツに連結されることにより固定されることを特徴とする請求項5に記載の模型玩具。

[請求項11] 構造体であって、連結部を有する第1パーツと、前記連結部が挿入される受け入れ部を有する第2パーツと、前記第1パーツと前記第2パーツとの接続部を被覆し、前記連結部が前記受け入れ部へ挿入される長さを規制する第3パーツとを備え、前記第3パーツは前記第2パーツに対して組み付ける向きを変更することにより、規制する前記長さを変更することを特徴とする構造体。

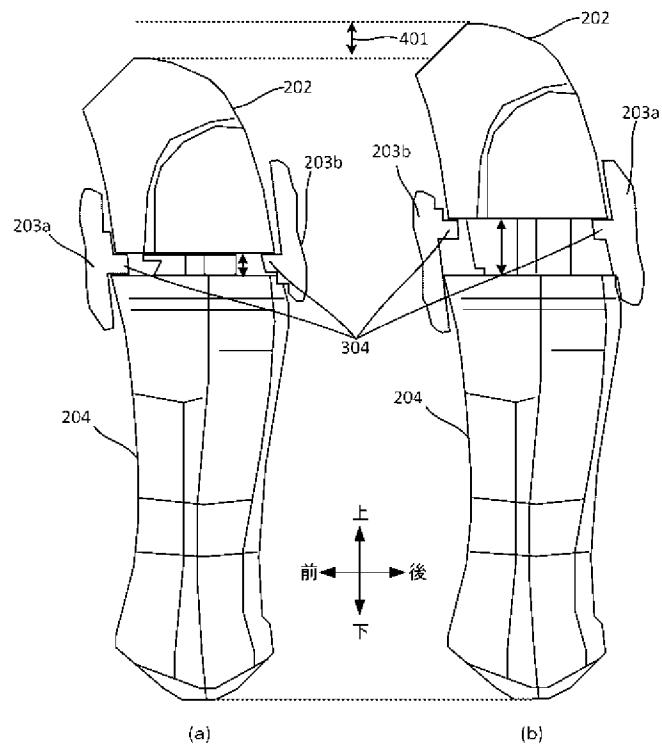
[図1A]



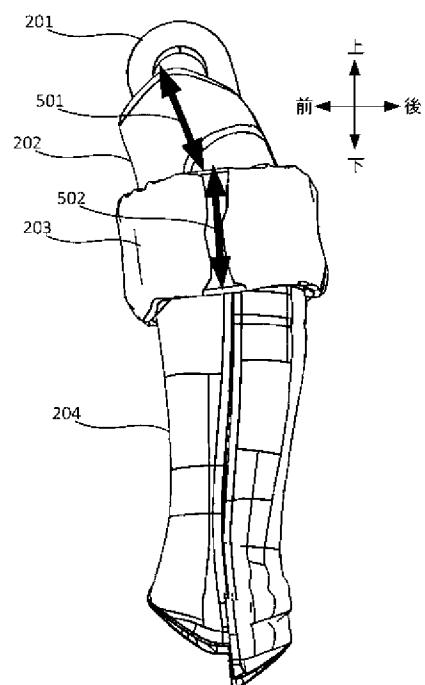
[図1B]



[図4]



[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2024/011816

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**A63H 3/36**(2006.01)i; **A63H 3/46**(2006.01)i

FI: A63H3/36 G; A63H3/46 B

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H 1/00-37/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2024

Registered utility model specifications of Japan 1996-2024

Published registered utility model applications of Japan 1994-2024

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2022-111363 A (KABUSHIKI KAISHA BANDAI) 29 July 2022 (2022-07-29) entire text, all drawings	1-11
A	WO 2014/129065 A1 (KABUSHIKI KAISHA BANDAI) 28 August 2014 (2014-08-28) entire text, all drawings	1-11
A	JP 2005-211688 A (SENTE CREATIONS K.K.) 11 August 2005 (2005-08-11) entire text, all drawings	1-11
A	JP 7-241387 A (KABUSHIKI KAISHA BANDAI) 19 September 1995 (1995-09-19) entire text, all drawings	1-11
A	JP 61-176379 A (TAKARA CO., LTD.) 08 August 1986 (1986-08-08) entire text, all drawings	1-11
A	CN 201565128 U (BANDAI (GUANGZHOU) CO., LTD.) 01 September 2010 (2010-09-01) entire text, all drawings	1-11



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“D” document cited by the applicant in the international application

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

16 April 2024

Date of mailing of the international search report

07 May 2024

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2024/011816

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	2022-111363	A	29 July 2022	(Family: none)	
WO	2014/129065	A1	28 August 2014	US 2015/0375127	A1
				entire text, all drawings	
JP	2005-211688	A	11 August 2005	(Family: none)	
JP	7-241387	A	19 September 1995	US 5417606	A
				entire text, all drawings	
				EP 663223	A1
				entire text, all drawings	
				DE 69410586	T2
				entire text, all drawings	
JP	61-176379	A	08 August 1986	(Family: none)	
CN	201565128	U	01 September 2010	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））
A63H 3/36(2006.01)i; A63H 3/46(2006.01)i
FI: A63H3/36 G; A63H3/46 B

B. 調査を行った分野
調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））
A63H 1/00-37/00
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
日本国実用新案公報 1922-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-2024年
日本国実用新案登録公報 1996-2024年
日本国登録実用新案公報 1994-2024年
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2022-111363 A（株式会社バンダイ） 29.07.2022（2022 - 07 - 29） 全文, 全図	1-11
A	WO 2014/129065 A1（株式会社バンダイ） 28.08.2014（2014 - 08 - 28） 全文, 全図	1-11
A	JP 2005-211688 A（株式会社センテクリエーションズ） 11.08.2005（2005 - 08 - 11） 全文, 全図	1-11
A	JP 7-241387 A（株式会社バンダイ） 19.09.1995（1995 - 09 - 19） 全文, 全図	1-11
A	JP 61-176379 A（株式会社 タカラ） 08.08.1986（1986 - 08 - 08） 全文, 全図	1-11
A	CN 201565128 U（BANDAI（GUANGZHOU）CO., LTD.） 01.09.2010（2010 - 09 - 01） 全文, 全図	1-11

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
“D” 国際出願で出願人が先行技術文献として記載した文献
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
16. 04. 2024

国際調査報告の発送日
07. 05. 2024

名称及びあて先
日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

権限のある職員（特許庁審査官）
鈴木 崇雅 2D 2548
電話番号 03-3581-1101 内線 3239

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
PCT/JP2024/011816

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	2022-111363	A	29.07.2022	(ファミリーなし)	
WO	2014/129065	A1	28.08.2014	US 2015/0375127	A1
				全文, 全図	
JP	2005-211688	A	11.08.2005	(ファミリーなし)	
JP	7-241387	A	19.09.1995	US 5417606	A
				全文, 全図	
				EP 663223	A1
				全文, 全図	
				DE 69410586	T2
				全文, 全図	
JP	61-176379	A	08.08.1986	(ファミリーなし)	
CN	201565128	U	01.09.2010	(ファミリーなし)	